

資料 8. ごみ減量・リサイクルに関する市民アンケート結果

1. 調査概要

1.1 調査目的

市民を対象として、ごみの減量・リサイクルに関する意識や個々の取組み状況について調査を行い、課題抽出や現行施策の評価、新たな施策等を検討するための基礎資料とする。

1.2 調査内容

項目	内容
実施方法	WEBアンケート（株式会社マクロミルを利用）
抽出方法	WEBアンケートモニター登録者のうち、鎌倉市在住者
サンプル数	2,370人
実施期間	平成26年11月28日～12月10日

1.3 回収結果

調査対象	対象者数	回収数	回収率
市民	2,370人	561人	23.7%

1.4 集計方法

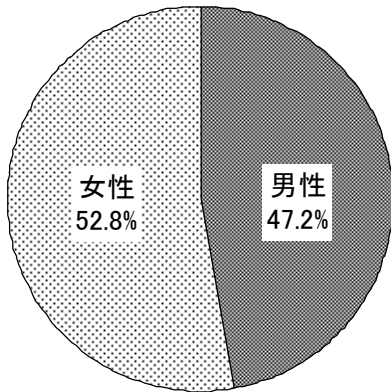
回答割合は小数点以下第二位を四捨五入した値で表示しているため、内訳と合計が一致しないことがある。また、複数回答の設問における回答件数の合計は、n（サンプル数）と一致しない。

クロス集計については特徴が見られたもののみ抜粋している。（年齢別は最後に一覧掲載）

2. 調査結果

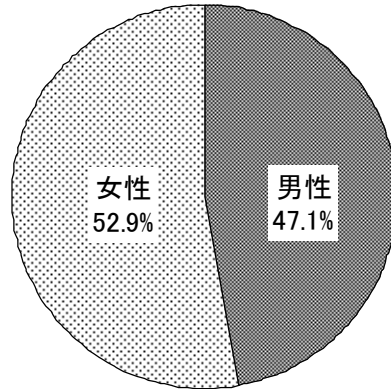
2.1 回答者の属性

(1) 性別

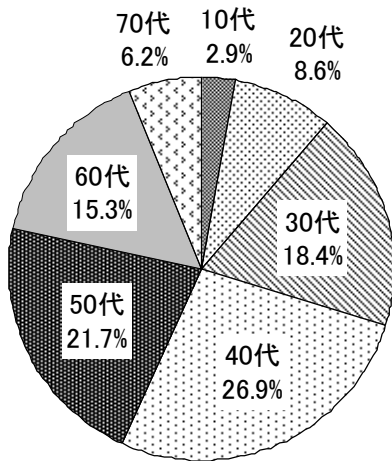


【参考】鎌倉市人口

(平成 22 年国勢調査の結果を基礎として住民基本台帳の増減を加算した推計 H26. 12. 1 現在)

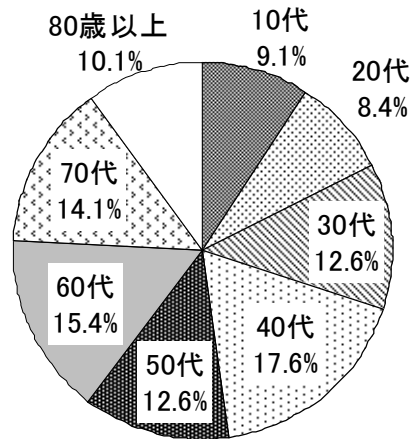


(2) 年齢

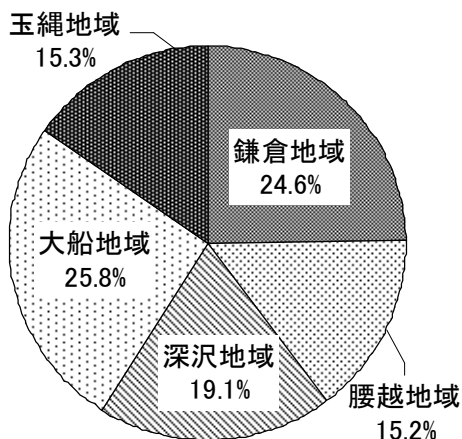


【参考】鎌倉市人口

(平成 22 年国勢調査の結果を基礎として住民基本台帳の増減を加算した推計 H26. 1. 1 現在)

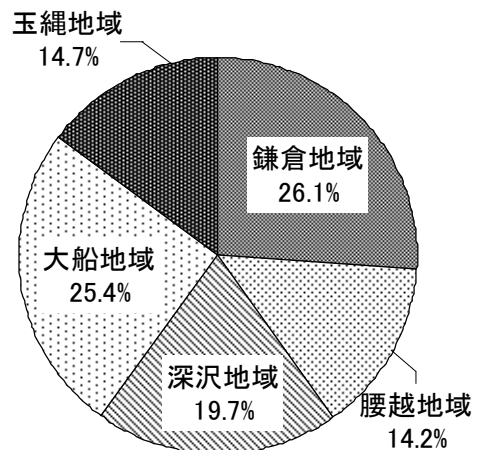


(3) 居住地

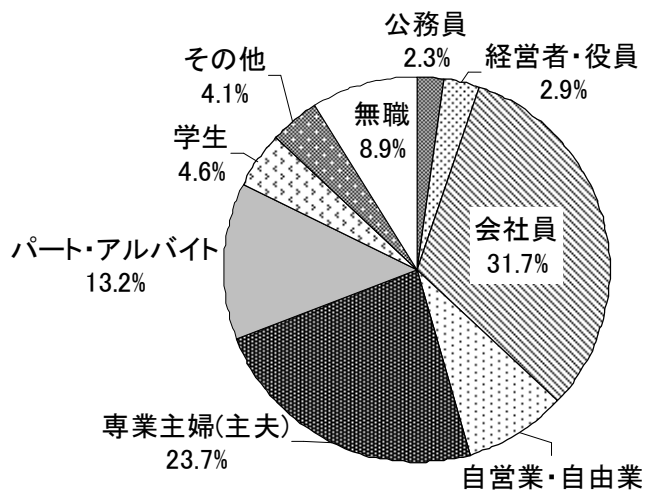


【参考】鎌倉市人口

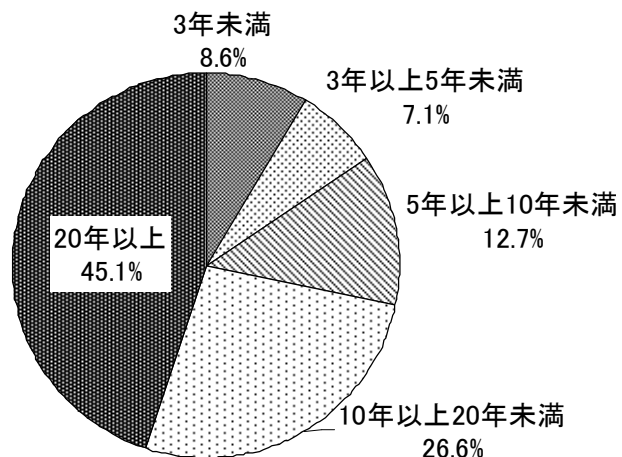
(平成 22 年国勢調査の結果を基礎として住民基本台帳の増減を加算した推計 H26. 12. 1 現在)



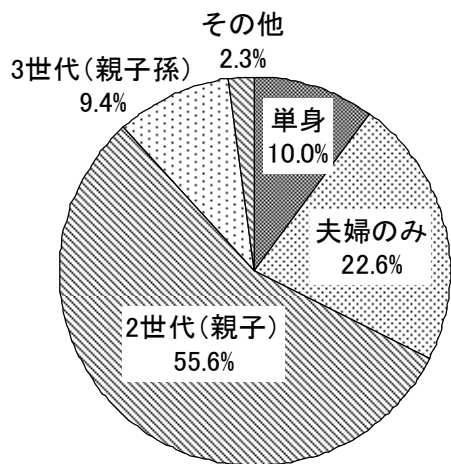
(4) 職業



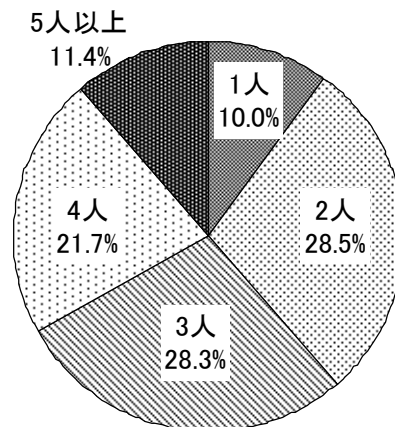
(5) 居住年数



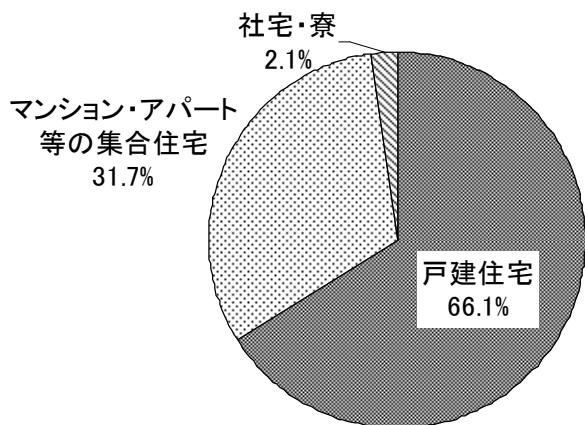
(6) 世帯構成



(7) 世帯人数



(8) 居住形態



2.2 ごみの排出、分別状況

問6 あなたのご家庭では、通常、「燃やすごみ」をどのくらいの量、頻度で出していますか。（1つだけ）

「燃やすごみ」の排出量及び頻度は「毎週2回」「レジ袋（大）」が32.3%と最も高く、次いで「毎週2回」「45Lごみ袋1袋」が25.8%となっている。

No.	項目	合計	45Lごみ袋 2袋以上	45Lごみ袋 1袋	レジ袋(大) 1袋	レジ袋(小) 1袋	その他
1	毎週3回以上	53	6 1.1%	3 0.5%	31 5.5%	13 2.3%	0 0.0%
2	毎週2回	448	42 7.5%	145 25.8%	181 32.3%	76 13.5%	4 0.7%
3	毎週1回	201	19 3.4%	67 11.9%	64 11.4%	48 8.6%	3 0.5%
4	2週間に1回	60	7 1.2%	20 3.6%	14 2.5%	15 2.7%	4 0.7%
5	2週間に1回未満	103	25 4.5%	33 5.9%	27 4.8%	15 2.7%	3 0.5%
6	わからない	231	43 7.7%	46 8.2%	37 6.6%	49 8.7%	56 10.0%
7	この量の燃やすごみは出さない	1709	419 74.7%	247 44.0%	207 36.9%	345 61.5%	491 87.5%
	合計(n=561)		561	561	561	561	561

問7 あなたはごみと資源物を下記に示す品目別に分別して出していますか。（1つだけ）

（参考）ごみと資源物の品目

飲食用カン、飲食用ビン、容器包装プラスチック、ペットボトル、植木剪定材、紙パック、ミックスペーパー、新聞・雑誌・ボール紙・段ボール、布類、使用済み食用油、燃えないごみ、危険・有害ごみ（蛍光管、乾電池など）、燃やすごみ、粗大ごみ

「きちんと分別している」が60.2%と最も高く、次いで「ほぼ分別している」が36.2%となっている。

No.	項目	件数	割合
1	きちんと分別している	338	60.2%
2	ほぼ分別している	203	36.2%
3	ときどき分別している	7	1.2%
4	ほとんど分別していない	1	0.2%
5	まったく分別していない	2	0.4%
6	自分以外の人が分別している	7	1.2%
7	分からない	3	0.5%
	合計(n=561)	561	100.0%

問8 問7で「1. きちんと分別している、2. ほぼ分別している、3. ときどき分別している」とお答えになった方におたずねします。分別する理由を教えてください。(2つまで)

「分別することがルールで定められているため」が65.1%と最も高くなっている。

No.	項目	件数	割合
1	分別することがルールで定められているため	357	65.1%
2	地球の資源を大切に、循環型の社会をめざすため	221	40.3%
3	鎌倉の環境を良くするため	140	25.5%
4	鎌倉市内にある焼却施設が停止することで、焼却量を減らさなくてはならないため	64	11.7%
5	焼却による排ガスを減らすため	41	7.5%
6	その他	16	2.9%
	合計(n=548)	839	

問9 問7で「4. ほとんど分別していない、5. 分別していない」とお答えになった方におたずねします。分別していない理由を教えてください。(2つまで)

回答数は合計3件と少ないが、そのうち「ごみの分別方法は分かるが、面倒だから」が2件、「分別しても本当にリサイクルされているか分からないから」が1件となっている。

No.	項目	件数	割合
1	ごみの分別方法は分かるが、面倒だから	2	66.7%
2	分別しても本当にリサイクルされているか分からないから	1	33.3%
3	なぜごみの減量やリサイクルをするのか分からないから	0	0.0%
4	分別方法が複雑で覚えられないから	0	0.0%
5	自分1人がごみを減量やリサイクルに取り組んでも何も変わらないから	0	0.0%
6	仕事や家事に追われてごみについて考える余裕がないから	0	0.0%
7	その他	0	0.0%
	合計(n=3)	3	

問10 以下の品目について、分別の際に困っていることはありますか。ある方は、その理由としてあてはまるものをそれぞれお答えください。(それぞれ3つまで)

(1) 飲食用カン・ビン

「特に困ることなく分別できる」が76.0%であり、困っている理由としては「手間である(洗う、束ねる等)」が10.4%、「汚れを取るための資源(水、ちり紙)がもったいない」が8.0%である。

No.	項目	合計 (n=549)	特に困ることなく分別できる	分別方法が分からない	手間である(洗う、束ねる等)	素材が分からないものがある	異なる素材がくっついていて分離することができない	どのくらい汚れを取ったらかわかわからない	収集日までの保管場所がない	汚れを取るための資源(水、ちり紙)がもったいない	その他
1	飲食用カン・ビン	628	417 76.0%	4 0.7%	57 10.4%	14 2.6%	37 6.7%	39 7.1%	14 2.6%	44 8.0%	2 0.4%

(2) 容器包装プラスチック

「特に困ることなく分別できる」が 53.0%と 12 分別の中で最も低く、困っている理由としては「どのくらい汚れを取ったら良いのか分からない」が 17.7%、「手間である(洗う、束ねる等)」が 16.6%、「素材が分からないものがある」が 14.2%、「汚れを取るための資源(水、ちり紙)がもったいない」が 12.8%となっている。

No.	項目	合計 (n=549)	特に困ることなく分別できる	分別方法が分からない	手間である(洗う、束ねる等)	素材が分からないものがある	異なる素材がくっついていて分離することができない	どのくらい汚れを取ったら良いかわからない	収集日までの保管場所がない	汚れを取るための資源(水、ちり紙)がもったいない	その他
2	容器包装プラスチック	731	291 53.0%	12 2.2%	91 16.6%	78 14.2%	60 10.9%	97 17.7%	28 5.1%	70 12.8%	4 0.7%

(3) ペットボトル

「特に困ることなく分別できる」が 86.2%となっている。

No.	項目	合計 (n=549)	特に困ることなく分別できる	分別方法が分からない	手間である(洗う、束ねる等)	素材が分からないものがある	異なる素材がくっついていて分離することができない	どのくらい汚れを取ったら良いかわからない	収集日までの保管場所がない	汚れを取るための資源(水、ちり紙)がもったいない	その他
3	ペットボトル	572	473 86.2%	2 0.4%	40 7.3%	1 0.2%	12 2.2%	9 1.6%	15 2.7%	20 3.6%	0 0.0%

(4) 植木剪定材

「特に困ることなく分別できる」が 74.5%となっているが、困っている理由としては「手間である(洗う、束ねる等)」が 12.2%となっている。

No.	項目	合計 (n=549)	特に困ることなく分別できる	分別方法が分からない	手間である(洗う、束ねる等)	素材が分からないものがある	異なる素材がくっついていて分離することができない	どのくらい汚れを取ったら良いかわからない	収集日までの保管場所がない	汚れを取るための資源(水、ちり紙)がもったいない	その他
4	植木剪定材	562	409 74.5%	21 3.8%	67 12.2%	4 0.7%	3 0.5%	3 0.5%	32 5.8%	1 0.2%	22 4.0%

(5) 紙類(紙パック)

「特に困ることなく分別できる」が 76.0%となっているが、困っている理由としては「手間である(洗う、束ねる等)」が 14.4%となっている。

No.	項目	合計 (n=549)	特に困ることなく分別できる	分別方法が分からない	手間である(洗う、束ねる等)	素材が分からないものがある	異なる素材がくっついていて分離することができない	どのくらい汚れを取ったら良いかわからない	収集日までの保管場所がない	汚れを取るための資源(水、ちり紙)がもったいない	その他
5	紙類(紙パック)	583	417 76.0%	13 2.4%	79 14.4%	17 3.1%	12 2.2%	7 1.3%	13 2.4%	23 4.2%	2 0.4%

(6) 紙類（ミックスペーパー）

「特に困ることなく分別できる」が 76.1%となっているが、困っている理由としては「手間である（洗う、束ねる等）」が 9.5%、「素材が分からないものがある」が 8.7%となっている。

No.	項目	合計 (n=549)	特に困ることなく分別できる	分別方法が分からない	手間である(洗う、束ねる等)	素材が分からないものがある	異なる素材がくっついていて分離することができない	どのくらい汚れを取ったらかわかない	収集日までの保管場所がない	汚れを取るための資源(水、ちり紙)がもったいない	その他
6	紙類(ミックスペーパー)	588	418 76.1%	22 4.0%	52 9.5%	48 8.7%	21 3.8%	1 0.2%	20 3.6%	0 0.0%	6 1.1%

(7) 紙類（新聞、雑誌、ボール紙、段ボール等）

「特に困ることなく分別できる」が 78.7%となっているが、困っている理由としては「手間である（洗う、束ねる等）」が 12.4%となっている。

No.	項目	合計 (n=549)	特に困ることなく分別できる	分別方法が分からない	手間である(洗う、束ねる等)	素材が分からないものがある	異なる素材がくっついていて分離することができない	どのくらい汚れを取ったらかわかない	収集日までの保管場所がない	汚れを取るための資源(水、ちり紙)がもったいない	その他
7	紙類(新聞、雑誌、ボール紙、段ボール等)	575	432 78.7%	9 1.6%	68 12.4%	23 4.2%	11 2.0%	1 0.2%	27 4.9%	0 0.0%	4 0.7%

(8) 布類

「特に困ることなく分別できる」が 83.1%となっている。

No.	項目	合計 (n=549)	特に困ることなく分別できる	分別方法が分からない	手間である(洗う、束ねる等)	素材が分からないものがある	異なる素材がくっついていて分離することができない	どのくらい汚れを取ったらかわかない	収集日までの保管場所がない	汚れを取るための資源(水、ちり紙)がもったいない	その他
8	布類	569	456 83.1%	27 4.9%	24 4.4%	17 3.1%	10 1.8%	4 0.7%	21 3.8%	4 0.7%	6 1.1%

(9) 使用済み食用油

「特に困ることなく分別できる」が 67.4%と他の分類よりもやや低く、困っている理由としては「手間である（洗う、束ねる等）」が 10.6%、「分別方法が分からない」が 9.8%となっている。

No.	項目	合計 (n=549)	特に困ることなく分別できる	分別方法が分からない	手間である(洗う、束ねる等)	素材が分からないものがある	異なる素材がくっついていて分離することができない	どのくらい汚れを取ったらかわかない	収集日までの保管場所がない	汚れを取るための資源(水、ちり紙)がもったいない	その他
9	使用済み食用油	565	370 67.4%	54 9.8%	58 10.6%	2 0.4%	5 0.9%	13 2.4%	29 5.3%	14 2.6%	20 3.6%

(10) 燃えないごみ

「特に困ることなく分別できる」が63.9%と他の分類よりもやや低く、困っている理由として「素材が分からないものがある」が14.9%、「収集日までの保管場所がない」が10.9%となっている。

No.	項目	合計 (n=549)	特に困ることなく分別できる	分別方法が分からない	手間である(洗う、束ねる等)	素材が分からないものがある	異なる素材がくっついていて分離することができない	どのくらい汚れたら良いのかわからない	収集日までの保管場所がない	汚れを取るための資源(水、ちり紙)がもったいない	その他
10	燃えないごみ	606	351 63.9%	39 7.1%	21 3.8%	82 14.9%	39 7.1%	4 0.7%	60 10.9%	1 0.2%	9 1.6%

(11) 危険・有害ごみ

「特に困ることなく分別できる」が60.3%と容器包装プラスチックの次に低く、困っている理由として「素材が分からないものがある」が12.9%、「収集日までの保管場所がない」が11.7%となっている。

No.	項目	合計 (n=549)	特に困ることなく分別できる	分別方法が分からない	手間である(洗う、束ねる等)	素材が分からないものがある	異なる素材がくっついていて分離することができない	どのくらい汚れたら良いのかわからない	収集日までの保管場所がない	汚れを取るための資源(水、ちり紙)がもったいない	その他
11	危険・有害ごみ	600	331 60.3%	63 11.5%	23 4.2%	71 12.9%	31 5.6%	6 1.1%	64 11.7%	2 0.4%	9 1.6%

(12) 燃やすごみ

「特に困ることなく分別できる」が86.0%となっており、12分別の中で最も高い。

No.	項目	合計 (n=549)	特に困ることなく分別できる	分別方法が分からない	手間である(洗う、束ねる等)	素材が分からないものがある	異なる素材がくっついていて分離することができない	どのくらい汚れたら良いのかわからない	収集日までの保管場所がない	汚れを取るための資源(水、ちり紙)がもったいない	その他
12	燃やすごみ	565	472 86.0%	13 2.4%	11 2.0%	35 6.4%	18 3.3%	1 0.2%	10 1.8%	3 0.5%	2 0.4%

問11 生ごみについて、あなたのご家庭では現在どのような方法で処理していますか。(いくつでも)

「『燃やすごみ』の収集に出す」が89.8%と最も高く、次いで「家庭用生ごみ処理機やコンポストで処理している」が11.9%となっている。生ごみ処理機を使用しているのは、合計で13.5%となっている。

No.	項目	件数	割合
1	「燃やすごみ」の収集に出す	504	89.8%
2	家庭用生ごみ処理機やコンポストで処理している	67	11.9%
3	庭などに埋める	34	6.1%
4	家庭用生ごみ処理機で乾燥後、「燃やすごみ」の収集に出す	9	1.6%
5	その他	6	1.1%
	合計(n=561)	620	

2.3 食品ロスに関する現状

問12 あなたはご家庭で、食材の無駄がないように調理に使う・食べるようにしていますか。（1 つだけ）

「ほとんどしている」が 56.7%と最も高く、次いで「時々している」が 21.9%、「いつもしている」が 17.3%となっている。

問 16 の「外出時に食べ残さないようにしていますか」の回答では、「いつもしている」が 46.9%であるのに対して、家庭での料理の方が、無駄がないようにする意識が比較的低いようである。

No.	項目	件数	割合
1	いつもしている	97	17.3%
2	ほとんどしている	318	56.7%
3	時々している	123	21.9%
4	ほとんどしていない	13	2.3%
5	まったくしていない	3	0.5%
6	家庭では食材を一切調理しない/食べない	7	1.2%
	合計(n=561)	561	100.0%

問13 問 12 で「1. いつもしている、6. 家庭では食材を一切調理しない/食べない」と答えた方以外の方におたずねします。あなたのご家庭から食材の無駄が出てしまう理由は何ですか。（いくつでも）

回答項目による大きな差は見られないが、「家にある食材の状況を考えずに多く買ってしまふ」が 19.9%と最も高い。

No.	項目	件数	割合
1	家にある食材の状況を考えずに多く買ってしまふ	91	19.9%
2	家族の食事の予定が分からず、余分に作ってしまう	85	18.6%
3	余った食材を上手く調理できない	84	18.4%
4	野菜の適切な保管の仕方が分からず、すぐ傷んでしまふ	79	17.3%
5	保存食品(缶、カップ麺など)の消費期限に気が付かない	79	17.3%
6	冷蔵庫・冷凍庫を整理しておらず、食材を把握できていない	63	13.8%
7	いつも多目に作りすぎてしまひ、料理が余ってしまう	59	12.9%
8	その他	74	16.2%
	合計(n=457)	614	

問14 「賞味期限」の扱いについて、以下の中から最もあなたの考えに近いものをお選びください。(1つだけ)

「賞味期限が過ぎても、数日程度であれば食べる」が 62.0%と最も高く、次いで「賞味期限に関わらず、色や臭いで食べるか判断している」が 25.0%となっている。

No.	項目	件数	割合
1	賞味期限が過ぎたものは食べないようにしている	56	10.0%
2	賞味期限が過ぎても、数日程度であれば食べる	348	62.0%
3	賞味期限に関わらず、色や臭いで食べるか判断している	140	25.0%
4	賞味期限を気にしない	15	2.7%
5	その他	2	0.4%
	合計(n=561)	561	100.0%

問15 ご家庭で、食材を無駄にしない工夫やアイデアがあればご記入ください。

意見者数は 364 名で、「買い物時の工夫」が 129 件と最も多く、次いで「保存の工夫」が 125 件、「調理の工夫」が 110 件となっている。

内容	意見数
1. 買い物時の工夫	129
余分なものを買わない	112
献立を考えて買う	17
2. 保存の工夫	125
冷凍保存	68
冷蔵庫の整理整頓、管理	57
3. 調理の工夫	110
野菜くず・皮の活用	38
その他調理の工夫	72
4. その他	77

問16 あなたは、外食時に食べ残さないようにしていますか。(1つだけ)

「いつもしている」が 46.9%と最も高く、「ほとんどしている」の 42.6%と合わせると約 90%が食べ残しに配慮している。

No.	項目	件数	割合
1	いつもしている	263	46.9%
2	ほとんどしている	239	42.6%
3	時々している	37	6.6%
4	ほとんどしていない	15	2.7%
5	まったくしていない	3	0.5%
6	外食は一切しない	4	0.7%
	合計(n=561)	561	100.0%

問17 問16で「1. いつもしている、6. 外食は一切しない」以外をお答えになった方におたずねします。
外食時に食べ残しが出る理由は何ですか。（いくつでも）

「嫌いな食材や味付け・調理方法のため」が30.3%と最も高く、次いで「ハーフサイズや小盛りなど、少なめに注文できるシステムが飲食店にないため」が28.6%、「味や量がメニューでイメージしていたものと違うため」が25.2%となっている。

No.	項目	件数	割合
1	嫌いな食材や味付け・調理方法のため	89	30.3%
2	ハーフサイズや小盛りなど、少なめに注文できるシステムが飲食店にないため	84	28.6%
3	味や量がメニューでイメージしていたものと違うため	74	25.2%
4	食べられる量に関係なく、食べたいものを注文するため	31	10.5%
5	宴会の時など時間制限がある場合、食べ終わる前に時間が終わってしまうため	30	10.2%
6	食べ残しても追加料金などのペナルティがないため	18	6.1%
7	その他	44	15.0%
	合計(n=294)	370	

問18 外食時になるべく食べ残しを出さないためにお店にしてほしい工夫やアイデアがあればご記入ください。（例：飲食店における小盛りメニューの追加、ドギーバッグ(残った料理を持ち帰るための容器)の提供など）

意見者数は360名で、「持ち帰りの工夫」が241件と最も多く、次いで「注文時の工夫」が191件となっている。

内容	意見数
1. 持ち帰りの工夫	241
持ち帰りシステム	149
ドギーバッグ等容器の提供	76
持ち帰りやすい雰囲気作り	16
2. 注文時の工夫	191
少量メニュー	116
注文しすぎない(客側の意識の問題)	37
注文前に量を提示(メニュー、写真等)	27
苦手・食べられない食材の除外	11
3. その他	56

2.4 ごみ減量・リサイクルに関する取組み状況、意識

問19 市民一人ひとりがごみの減量、資源化をすすめるために、以下に示す3Rの中で一番大切なことは何だと思えますか。（1つだけ）

「ごみになるものは買わない、もらわない(リデュース)」が46.0%と最も高く、次いで「きちんと分別して資源として再生する(リサイクル)」が38.3%となっており、「ごみとしてすぐに捨てずに繰り返し使う(リユース)」が15.7%と低い。

No.	項目	件数	割合
1	ごみになるものを買わない、もらわない (Reduce:リデュース)	258	46.0%
2	ごみとしてすぐに捨てずに繰り返し使う (Reuse:リユース)	88	15.7%
3	きちんと分別して資源として再生する (Recycle:リサイクル)	215	38.3%
	合計(n=561)	561	100.0%

問20 ごみの減量やリサイクルについて、現在どのようなことに、どの程度取り組んでいますか。(それぞれ1つだけ)

「いつもしている」については、「詰め替えタイプや繰り返し使用できる商品を選ぶ」が36.7%、「生ごみを出すときは水気を切るよう努めている」が33.3%と高くなっている。

「まったくしていない」については、「生ごみ処理機を使用し、減量・資源化している」が70.1%、「市や事業者が行うごみの減量やリサイクルについての説明会や勉強会等へ積極的に参加している」が49.0%と高くなっている。

No.	項目	合計 (n=561)	いつも している	ほとんど している	時々して いる	ほとんど していな い	まったく していな い
1	詰め替えタイプや繰り返し使用できる商品を選ぶ	561 100.0%	206 36.7%	240 42.8%	101 18.0%	8 1.4%	6 1.1%
2	生ごみを出すときは水気を切るよう努めている	561 100.0%	187 33.3%	241 43.0%	91 16.2%	26 4.6%	16 2.9%
3	長期間使うことのできる商品を選ぶ	561 100.0%	133 23.7%	243 43.3%	160 28.5%	19 3.4%	6 1.1%
4	マイバッグを持参し、レジ袋をもらわない	561 100.0%	147 26.2%	169 30.1%	161 28.7%	37 6.6%	47 8.4%
5	過剰な包装は断る	561 100.0%	100 17.8%	183 32.6%	207 36.9%	45 8.0%	26 4.6%
6	再生紙でできたトイレトペーパーやリサイクル製品(再生製品)を選ぶ	561 100.0%	111 19.8%	168 29.9%	178 31.7%	75 13.4%	29 5.2%
7	マイはしやマイボトルを使っている	561 100.0%	99 17.6%	120 21.4%	164 29.2%	64 11.4%	114 20.3%
8	不用品はフリーマーケットやリサイクルショップへ出すなど、リユース(再使用)に努める	561 100.0%	74 13.2%	127 22.6%	178 31.7%	90 16.0%	92 16.4%
9	使い捨て製品を買わないようにする	561 100.0%	48 8.6%	133 23.7%	243 43.3%	92 16.4%	45 8.0%
10	地域のごみ減量・資源化の取り組みに積極的に参加している	561 100.0%	52 9.3%	122 21.7%	158 28.2%	121 21.6%	108 19.3%
11	食品トレイや牛乳パック、ペットボトルなどの資源物は、できるだけ販売店へ返却している	561 100.0%	73 13.0%	79 14.1%	111 19.8%	140 25.0%	158 28.2%
12	生ごみ処理機を使用し、減量・資源化している	561 100.0%	55 9.8%	45 8.0%	40 7.1%	28 5.0%	393 70.1%
13	ごみ減量・資源化に取り組んでいる店舗から買い物をするように努めている	561 100.0%	26 4.6%	71 12.7%	165 29.4%	175 31.2%	124 22.1%
14	市や事業者が行うごみの減量やリサイクルについての説明会や勉強会等へ積極的に参加している	561 100.0%	15 2.7%	38 6.8%	87 15.5%	146 26.0%	275 49.0%

2.5 ごみに関する情報の入手方法、施策の認知度

問21 現在、どのようなものからごみの減量や分別、リサイクルなどに関する情報を得ていますか。(いくつでも)

「広報かまくら」が83.8%と最も高く、「市のパンフレット、チラシ」35.3%など紙媒体によるものが比較的高い。今回WEBアンケートのため、WEBを利用している層の回答になるが、ホームページは15.3%であり、フェイスブックやアプリなどで情報を得ているのは少数であった。

No.	項目	件数	割合
1	広報かまくら	470	83.8%
2	市のパンフレット、チラシ	198	35.3%
3	自治会が作成したチラシ(回覧板)	133	23.7%
4	鎌倉ごみ減量通信	126	22.5%
5	市のホームページ	86	15.3%
6	イベント、説明会	16	2.9%
7	市への問い合わせ	11	2.0%
8	ごみダイエット展(パネル)	5	0.9%
9	市のフェイスブック	2	0.4%
10	スマートフォン向けアプリ(鎌倉ごみマスターズ)	2	0.4%
11	その他	11	2.0%
	合計(n=561)	1060	

問22 鎌倉市における、ごみの減量や分別、リサイクルなどに関する情報発信についてご意見があればご記入ください。(例：LINE、ツイッターの活用 など)

意見者数は207名で、情報発信ツールへの要望としては「ホームページ、メールマガジンサービス」が36件と最も多く、次いで「広報誌」、「SNS」ともに29件となっている。

内容	意見数
1. 情報発信ツールへの要望	127
ホームページ、メールマガジンサービス	36
広報誌	29
LINE、ツイッターなどのSNS	29
チラシ・回覧板、冊子	27
インターネットを使用しない方法	6
2. 発信する内容への要望	33
3. 現状で十分である	18
4. その他	44

問23 鎌倉市が行っている以下の施策について、知っているものを全てお選びください。(いくつでも)

「家庭系ごみの有料化」が 73.4%と最も高く、次いで「生ごみ処理機購入費助成制度」が 63.8%、「植木剪定材(竹・笹・シュロを含む)からできた堆肥の無料配布」が 53.7%となっている。

No.	項目	件数	割合
1	家庭系ごみの有料化(平成27年4月1日から)	412	73.4%
2	生ごみ処理機購入費助成制度	358	63.8%
3	植木剪定材(竹・笹・シュロ類含む)からできた堆肥の無料配布	301	53.7%
4	生ごみ処理機直接販売制度	139	24.8%
5	リユースネットかまくら(インターネットによる不用品登録制度)	115	20.5%
6	リユース食器利用費補助金交付制度	41	7.3%
7	ふれあい収集	26	4.6%
8	この中にあてはまるものはない	68	12.1%
	合計(n=561)	1460	

問24 今後、ごみの減量やリサイクルを進めていくためには、市ではどのような施策が必要だと思いますか。(3つまで)

「スーパーなどで、簡易包装や量り売りなどの包装の少ない店舗を広める」が 27.8%と最も高く、次いで「レストランで小盛りメニューの提供や持ち帰りを推奨する」が 24.2%、「ごみの減量のアイデアを募集し、紹介する」が 23.7%となっている。

No.	項目	件数	割合
1	スーパーなどで、簡易包装や量り売りなどの包装の少ない店舗を広める	156	27.8%
2	レストランで小盛りメニューの提供や持ち帰り(ドギーバッグ)を推奨する	136	24.2%
3	ごみの減量のアイデアを募集し、紹介する	133	23.7%
4	フリーマーケットなどの不要品交換についてのイベントを推進する	123	21.9%
5	家庭で生ごみを処理できる生ごみ処理機をより広く周知する	109	19.4%
6	ごみ出しの責任を明確にするため各家庭の前で収集する(戸別収集)	103	18.4%
7	食べ残しなどの食品の無駄をなくすよう広く周知する	100	17.8%
8	引越しが多いワンルームマンション等への分別の周知を徹底する	99	17.6%
9	リサイクルショップの情報や不要品を売れるようなインターネットの情報を提供する	94	16.8%
10	自治会やマンションなど、地域における取組みを広める	84	15.0%
11	生ごみの水切り運動をより広く周知する	62	11.1%
12	繰り返し使用できる製品・再生品の製造・販売を推奨する	49	8.7%
13	ごみの減量・リサイクルの必要性について環境教育や説明会で周知する	43	7.7%
14	環境にやさしいライフスタイルへの転換を呼び掛けるキャンペーンを推進する	24	4.3%
15	その他	43	7.7%
	合計(n=561)	1358	

2.6 ごみ減量・リサイクルに関する意見

問25 ごみの減量や分別、リサイクルについてのアイデアやご意見などをご自由にお書きください。

意見者数は249名で、「ごみ減量に関する意見」が74件と最も多くなっている。

内容	意見数
1. ごみ減量に関する意見	74
過剰包装や少量販売等の推進	22
生ごみの堆肥化、生ごみ処理機の活用	16
ごみを出さないライフスタイルの推進	12
その他ごみ減量のアイデア	24
2. 分別に関する意見	61
分別・収集への意見	27
分別についての説明の充実(冊子、ホームページ等)	13
その他分別のアイデア	21
3. リユース・リサイクルに関する意見	41
フリーマーケットの企画・開催	15
不用品の再利用、リサイクルショップ	14
その他リサイクルのアイデア	12
4. 各個人の意識改革、普及啓発	41
5. 有料化に関する意見	25
6. その他	39